

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度学校経営の重点(短期経営目標)		
<p>1 目指す教育 新卒剛健の校則のもと、高等学校における普通教育と農業に関する専門教育を施すことにより、社会人基礎力を養い、農業教育で培った知識・技術を活かし、生命の尊厳を尊び、農業の発展及び環境保全に貢献する意識と実行力を備えた、社会の発展に寄与する人材を育成する。</p> <p>2 目指す学校 京都府農業教育の唯一の専門高校として、地域や関係諸機関等に信頼される学校づくりを基本と目指す。生徒 (1) 社会から求められる人材を育成する学校 (2) 農業や農業に関連する分野で活躍する職業人を育成する学校 (3) 農業専門高校にふさわしい高度な専門性を追求する学校を目指す。</p> <p>3 目指す生徒 (1) 夢と希望を持ち、未来を展望する力をもつ生徒 「展望する力」 (2) 生命を慈しみ、他を思いやり、つながる力をもつ生徒 「つながる力」 (3) 質実剛健の風風を培い、挑戦し続ける力をもつ生徒 「挑戦する力」</p>		<p>(成果) ・在学中インターンシップの機会を増やした結果、多くの生徒が意欲的に参加し、進路意識の向上につながった。 ・進路意識が高く、学力上位層の生徒はそれぞれの目標に向かい努力し、目標とする進学先に合格した。 ・学校農業クラブ連盟京都府大会で、意見発表3分野すべてで最優秀賞を獲得し、生徒・教員の努力が結果した。 ・いくつもの学科・コースでそれぞれ関連する外部機関や個人と連携が進み、多様な取組の中で、生徒に自覚と責任感が育成された。 ・教員からの転任やマムシによる咬傷、自転車運転中の自損事故等が起り、生徒が重傷を負うという事象があったが、教職員の適切な事後対応により、特に重大事象には至らなかった。 (課題) ・担任や進路指導部を中心にキャリア教育やインターンシップを推進し社会人基礎力の育成を図っているが、3年生の状況等をみるにつけ、より教育効果の高い取組を模索する必要性を感じている。 ・生徒対象の授業評価アンケートを実施し、生徒に対して授業に対する姿勢や取組状況について自省させるとともに、教職員は結果について検討し授業の質向上に向けてのエビデンスとする。 ・生徒・教員ともに多大な努力をした成果が農業クラブ活動に表れたが、過大な負担とならないような配慮が必要である。 ・今年度発生した事故はいずれも生徒の危機意識・安全意識の低さに原因があるというケースであり、全生徒に対して、自らの安全確保や危機管理について最低限の知識を身につけさせたいと、意識を向上させ適切な行動がとれるよう指導を強化する必要がある。</p>		<p>1 学校経営主題 「学力の向上、専門知識・技能の発信、社会人基礎力の涵養そして、自己有用感の高揚！！」</p> <p>2 学校経営の重点事項 (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と主体的・対話的で深い学びの実践 ①主体的・対話的で深い学びを旨とし、授業・実習における指導方法の工夫・改善と評価標準に基づく適正な評価を実施する。 ②生徒の学力向上と授業改善に資することを目的とし、生徒による授業アンケートを実施する。 (2) 専門高校としての特色のある活動の推進と生徒の成功体験の構築 ①学科・コースの特性を生かし、「農業の6次産業化」の視点に基づく教育活動の推進に取り組む。 ②農業クラブにおけるプロジェクト研究活動(計画的)の実践し、意見発表、農業鑑定競技とともに、日本学校農業クラブ全国大会入賞を目指す、指導を行う。 (3) 積極的なキャリア教育の実践による生徒の個性・能力に応じた進路実績の構築 ①専門性を発達した進路学習、インターンシップ等により、勤労観と職業観を計画的に育成する。 ②地域、企業、大学等と連携し、外部人材を活用するなど職業人としての高い倫理観を培う。 (4) 人間性を育み、正しい判断力と適正な行動規範の定着 ①生徒対象型・問題解決型の生徒指導を保護者との連携を軸に実践し、 ②素養教育として社会性を身につけさせ、自立心、協調性、責任感を育むなど、きめ細やかな教育を実施する。 (5) あらゆる教育活動とおとした人権教育の推進 ①自他の人権と生命を大切に、良識ある公民として共生社会を主体的に生きる力を育成する。 ②特別な支援を要する生徒の教育ニーズを適切に把握し、関係機関とも連携し、合理的配慮を踏まえた特別支援教育を推進する。 (6) 信頼される開かれた学校づくりの推進 ①「農業祭」を日頃の学習成果の発表の場とし、学校を広く府民に公開する。 ②新聞広報、GATVなどによる教育活動情報を積極的に発信するとともに、教育ニーズの把握に努め、定員を充足する志願者を確保する。</p>		
分野/教科名	評価領域(業務領域)	重点目標	具体的方策(実践項目)	評点	評価	成果と課題
管理職	組織運営	農業専門高校の特色ある活動をおとし、生徒に成功体験を積ませ、自己有用感を高める。 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と主体的・対話的で深い学びを実践する。 積極的なキャリア教育を実施することにより生徒個々の個性や能力に応じた進路実現を果たす。	農業クラブ活動における意見発表やプロジェクト発表、競技会や、様々なコンテストやコンクールへの準備と参加をおとし、数多くの成功体験を積ませる。 各教科の授業において授業方法に工夫を加えることで、生徒の興味関心を惹起し、生き生きと活動しつづけるような授業実践を推進する。 外部機関との連携を深め、インターンシップのみならず、職場体験やプロフェッショナルと切磋琢磨する機会を創設させることにより、健全な職業観や勤労観を育み、プロ意識の定着を図る。			
事務部	学習環境	学習環境の整備に努める。 生徒の学力向上と希望進路実現に向けて、教育の条件整備に努める。	授業改善に関することは、予算的措置、見直しを持って積極的に取り組む。 予算の効率的な執行のためにも、無駄を省き効率的に運営を行うべく、施設、設備面では緊急度の高いものから早急に対応し、学習環境の向上に努める。 経済的理由から希望進路を変更することが無いよう、奨学金制度の周知を図る。			
教務部	学習指導	指導と評価の一体化を図る授業改善を行い、学力の向上を図る。 人間性を育み、基本的な生活習慣を身に付ける指導の充実を図る。	各分野と連携をし、社会人として最低限求められる基礎学力の定着を図るため、体系的に指導が進めらるよう連携を図る。 専門高校の特色を活かして学習面における生徒の成功体験の増加を図る。 「授業開始の五ヶ条」の徹底により、授業規律の確立を目指す。			
生徒指導部	生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上 いじめ等の問題行動の未然防止 生徒会活動・部活動の活性化	全教職員によるあらゆる教育活動を通した服装・頭髪指導を徹底し、社会的マナーや規範意識を高める。 生徒の実態を把握し、いじめ調査等を行うことで問題行動の未然防止に努める。 多くの生徒が参加でき、達成感・充実感を得られる部活動・生徒会活動を展開する。			
進路指導部	進路指導	学力の向上 社会人基礎力の育成	インターンシップの活性化や卒業生課和の実施 進学セミナー、学習合宿、基礎学力補習の更なる充実 日次の指導に加え、外部講師を活用して、マナーや職業観を身に付けさせる			
保健部	特別支援教育 校内美化 安全教育	支援を必要とする生徒の一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う支援教育を推進する。 ゴミの分別など環境を守る意識を養う。 安全な食生活や危険生物に対する知識を身につけさせる	校内においては、特別支援教育会議を持ち情報の交換をおこない、生徒の教育的ニーズを適切に把握することに努める。また、支援や配慮の必要性に応じて地域支援センター、医療機関・福祉関係機関などの外部機関と連携を図るとともに、継続支援の必要な生徒については高校卒業後の進路先へ個別の支援計画を引き継ぐ。 意識を向上させるための啓発に取り組みとともに、清掃指導を確実に行う。 HR担任と協力し危険防止の啓発に努める。			
専門教育 教員部	専門教育 生徒募集	社会人基礎力の育成するため、農業クラブ活動の活性化と農業科における連携事情の推進を図る。 目的意識を持った生徒の確保	農業クラブ各種競技会各コンテスト等の入賞を目指し、成功体験を増加させる。 専門科目に関する資格取得の向上を強化させるため、啓蒙活動を図る。 学校説明会の機会や内容の工夫と、ホームページによる情報発信力の強化。			
農場部	農場管理・運営	適切な農場運営と安全を確保した実験・実習の展開	学科・コースと連携し、農場運営に必要な経費の確保に努め、円滑な農場運営を目指す。 危険箇所や修繕が必要な箇所を把握し、実験・実習が安全に展開できるように努める。			
	農業クラブ活動	農業クラブ活動の活性化 特色化事業	各種発表会・競技会において、府連大会、全国大会での入賞を目指した指導を行う。 近畿学校農業クラブ連盟大会を適切に運営し、成功させる。 農業祭の企画・運営を通じて、日頃の学習の成果を広く府民に公開する。 共進会、技能五輪、菊花展での入賞、企業や専門学校との連携事業を展開し、特色ある活動を推進する。			
寮教育部	寮教育 運営全般	寮生活と学習を密着させ、自己有用感の高揚を図るとともに、自己実現に向けて努力することのできる生徒の育成	自ら挨拶することの定着と基本的な生活習慣の確立を図り、社会性を身につけさせ自律を促す。 学習時間を有効活用し、学習習慣の定着を図るとともに、学習に対する主体性を育成する。			
第1学年部	指導方針	基本的な生活習慣の確立と社会性の涵養	自己管理能力の向上を目指した指導を土台とし、挨拶・清掃・人権教育など様々な機会を通して社会性の涵養を目指す。			
		基礎学力向上に向けた学習習慣の定着 農業教育に対する肯定感を高め、自己有用感の高揚を目指す	分業・教科間と連携し、基礎学力向上に向けた学習機会の提供と適切な指導を行うことで、学力及び学習に対する意欲の向上を目指す。 農業分野の活動や学校行事に積極的に取り組むとともに、キャリア教育を通して農業を学ぶことへの肯定感を高める指導を行う。			
第2学年部	指導方針	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と主体的・対話的で深い学びの実践に取り組む。	本格的に始まる専門的な学習と普通教科の学習を体系的に学習できるように調整づけをしていき、知識・技能の確実な習得を目指す。			
		人間性を育み、正しい判断力と適正な行動規範の定着を図る。 積極的なキャリア教育の実践による生徒の個性・能力に応じた進路実績の構築を図る。	修学旅行、体育祭等の学校行事、各コースでの取組み、ボランティア活動等を通じて、社会人基礎力として、集団・個人としての自律・自立をはかる。 進路学習を活用して、自らの進路を意識させ、目標を持った集団作りをする			
第3学年部	指導方針	農業高校の最上級生として活躍する生徒を育成する	進路を整理し、高校生活最後の学校行事や学習活動、資格取得に積極的な参加を促す 体育祭や農業祭を通じて結束力を高め、組織として動力を養う			
		・学校組織での進路指導 ・社会に通用する人間形成	4月から進路に関する保護者説明会を実施し、保護者と連携した進路指導を行う。 チューター制度を活用し、コースと連携した進路指導を行う。 担任と進路指導部が連携した進路指導を行う。 あいさつ・時間厳守・清掃の徹底を行い、社会人として当たり前の事を当たり前にできる人間へと成長を促す			

学校関係者 評価委員会 による評価						
-------------------------	--	--	--	--	--	--

次年度に 向けた改善の 方向性						
-----------------------	--	--	--	--	--	--